

# I 調査の概要



## 第1章 調査の概要

### 1 調査の目的

本調査は、国や調布市の動向を踏まえ、アンケート調査、住民懇談会等により市民の生活実態や地域の福祉に対する意識や意見、ニーズを把握し、次期の「調布市地域福祉計画」、「調布市高齢者総合計画」、「調布市障害者総合計画」を改定する際の基礎資料とすることを目的とする。

### 2 アンケート調査の概要

#### (1) 調査方法

郵送配布—郵送回収（督促礼状1回送付）

#### (2) 調査時期

令和元年10月11日（木）～10月28日（月）

#### (3) 調査の一覧

調査名		調査対象者		回収率	
		調査対象範囲	調査人数	有効回収数	有効回収率
調査1	調布市民の福祉意識と地域生活に関する調査	市内に居住する18歳以上の市民	2,000人	835	41.8%
調査2	高齢者の生きがいと地域生活に関する調査	65歳以上の市民	2,000人	1,273	63.7%
調査3	障害のある方の地域生活に関する調査 (18歳以上)	①身体障害者手帳所持者 (64歳以下)	400人	221	55.3%
		②身体障害者手帳所持者 (65歳以上)	400人	250	62.5%
		③愛の手帳所持者	300人	172	57.3%
		④精神障害者保健福祉手帳所持者	400人	203	50.8%
		⑤難病患者	300人	173	57.7%
調査4	障害のある方の地域生活に関する調査 (18歳未満)	障害者手帳(身体, 知的, 精神)所持者, 難病患者, 児童福祉通所受給者証をお持ちの方	200人	115	57.5%
合計			6,000人	3,247	54.0%

### 3 住民懇談会の概要

#### (1) 目的

調布市地域福祉計画で掲げた地域力強化に関する取組のうち、特に地域で推進され、成果・課題どちらも挙がっている「身近な地域交流拠点の充実」について、地域ごとの進捗状況を把握するとともに、更に推進するための方策を検討する。

#### (2) 開催日時と参加者数

同様の内容で8つの福祉圏域で、土・日曜日の昼間に開催した。

	地域名	日時	会場	参加者数
①	滝坂・緑ヶ丘小学校地域	9月29日(日) 9:30~11:30	仙川ふれあいの家 (せんがわ劇場3階)	8人
②	深大寺・北ノ台小学校地域	10月19日(土) 9:30~11:30	調布市総合福祉センター 201-203	5人
③	第二・八雲台・国領小学校地域	11月2日(土) 9:30~11:30	調布市民プラザあくろす ホール1	9人
④	第三・石原・飛田給小学校地域	11月2日(土) 14:00~16:00	調布市総合福祉センター 201-203	10人
⑤	染地・杉森・布田小学校地域	11月9日(土) 9:30~11:30	調布市文化会館たづくり 12階 大会議場	10人
⑥	若葉・調和小学校地域			
⑦	上ノ原・柏野小学校地域	11月9日(土) 13:30~15:30	調布市文化会館たづくり 12階 大会議場	15人
⑧	第一・富士見台・多摩川小学校地域			
計				57人

### 4 専門職懇談会の概要

#### (1) 目的

圏域・分野を越えた相談支援機関の職員が、複合的な課題を抱える人・世帯の事例、相談機関同士・行政と連携を図る場合の課題を話し合い、包括的な相談支援体制の構築に向けた課題を把握する。

#### (2) 調査時期

令和2年1月24日(金)

## 第2章 報告書のみかた

### 1 本報告書を読むにあたっての留意事項

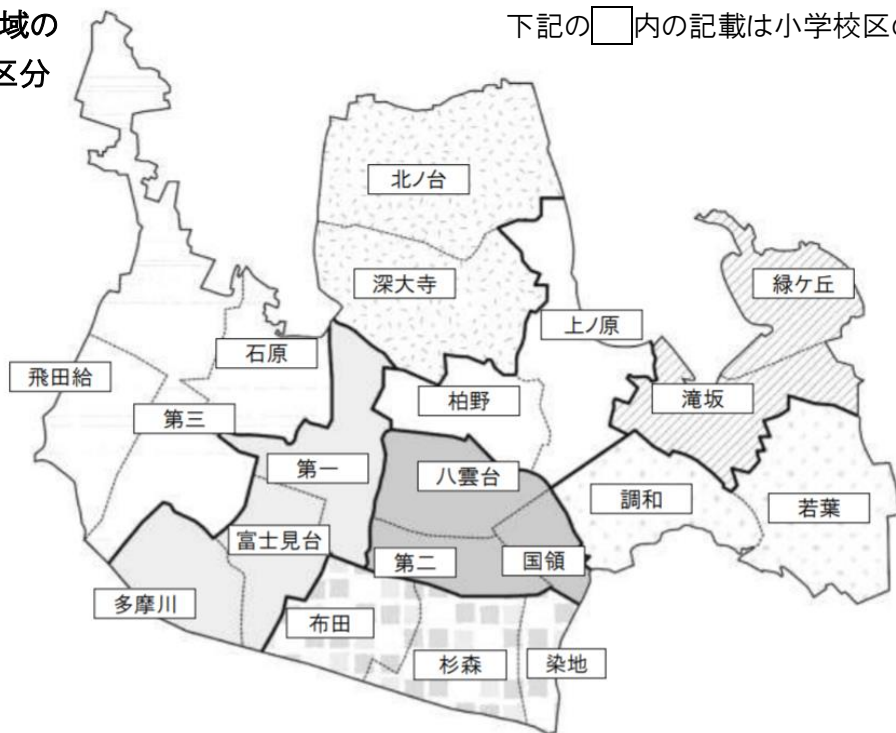
- 「回答者数」について  
それぞれの質問の回答者数は、全体的場合はN (Number of cases), それ以外の場合にはnと表記している。
- 図表の単位について  
回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率 (%) で示している。% は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。  
なお、回答者が1つ回答することのできる質問 (単数回答) については、%の合計が 100.0%になるように、最も多い回答の%を調整している (今回調査)。また、回答者が2つ以上回答することのできる質問 (複数回答) については、%の合計は 100.0%にならない。
- 図表における選択肢について  
図表の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合がある。省略していない選択肢は、339 ページからの「資料編」の調査票を参照のこと。
- 集計方法について  
この報告書では、以下の3つの集計を行っている。
  - ① 全体集計  
回答者全体、もしくは質問に該当する人全体のみで集計した結果である。
  - ② クロス集計  
上記①の全体集計をさらに男女や年代ごとに詳細に集計した結果である。なお、集計の柱となる項目の「無回答」は掲載を省略している。したがって、集計の柱となる項目の回答者数の合計は、全体と一致しない。
  - ③ 自由回答の整理  
自由回答は、項目ごとに分け件数を数えた後、主な意見を抜粋して掲載している。
- 調査1 (調布市民の福祉意識と地域生活に関する調査) の経年比較について  
平成28年度調査までは、対象者の年齢を65歳未満としていたが、令和元年度調査から65歳以上も含めている。このため、経年比較を行う際は、回答者のうち65歳未満に絞って再集計した結果を用いて分析している。
- クロス集計表の網掛けについて  
クロス集計表で網掛けしている項目は、最も回答の多かった項目である。
- 回答者数が10人未満の項目について  
回答者数が10人未満の項目については、原則として分析の対象としない。

## 2 居住地域の分類について

市内を8つの福祉圏域に分類している。

### ■福祉圏域の地域区分

下記の□内の記載は小学校区の名称



福祉圏域		主な該当地域
①	緑ヶ丘・滝坂小学校地域	仙川町1～3丁目、緑ヶ丘1丁目・2丁目、菊野台1丁目の一部、東つつじヶ丘1～2丁目・3丁目の一部、西つつじヶ丘1～4丁目の一部、若葉町1丁目の一部
②	若葉・調和小学校地域	東つつじヶ丘3丁目の一部、西つつじヶ丘3・4丁目の一部、入間町1～3丁目、若葉町1丁目の一部・2丁目・3丁目、国領町8丁目の一部、菊野台1丁目の一部・2丁目・3丁目
③	上ノ原・柏野小学校地域	佐須町1丁目の一部・2丁目・3丁目の一部・4丁目・5丁目、柴崎1丁目・2丁目、菊野台1丁目の一部、西つつじヶ丘1丁目の一部・2丁目の一部、調布ヶ丘3丁目の一部、深大寺元町2丁目の一部、深大寺東町2丁目の一部・3丁目・4丁目、深大寺南町1～3丁目の一部・5丁目の一部
④	北ノ台・深大寺小学校地域	深大寺北町1～7丁目、佐須町1丁目の一部、深大寺元町2丁目の一部・3～5丁目、深大寺東町1丁目・2丁目の一部・5～8丁目、深大寺南町1～3丁目の一部・4丁目・5丁目の一部
⑤	第二・八雲台・国領小学校地域	佐須町3丁目の一部、調布ヶ丘2丁目・3丁目の一部、八雲台1丁目・2丁目、国領町1～5丁目、8丁目の一部、布田2丁目・3丁目
⑥	染地・杉森・布田小学校地域	国領町6～7丁目、染地1～3丁目、布田5～6丁目、多摩川6～7丁目
⑦	第一・富士見台・多摩川小学校地域	富士見町2丁目の一部、下石原1～3丁目の一部、小島町1～3丁目、多摩川1～5丁目、布田1丁目・4丁目、調布ヶ丘1丁目・3丁目の一部・4丁目、深大寺元町1丁目
⑧	第三・石原・飛田給小学校地域	飛田給1～3丁目、上石原1～3丁目、富士見町1丁目・2丁目の一部・3～4丁目、下石原1～3丁目の一部、野水1丁目・2丁目、西町